






中期ビジョン(Nochu Vision 2030 ~未来を見据え、変化に挑む~)

当金庫は、2024~2030年度を期間とする中期ビジョン「Nochu Vision 2030~未来を見据え、変化に挑む~」を策定し、「2030年のありたい姿」を5つ決めました。



農林中金グループを取り巻く事業環境は複雑かつ加速度的に変化していくという見通しのもと、グループ丸となってパーパスを実現・発揮していくためには、数年先の変化を正確に予測し精緻な計画を立てるのではなく、“ありたい姿”に向かって外部環境の変化に柔軟かつ機動的に対応していく経営が重要だと考えています。

2030年のありたい姿

 <p>地球環境・社会・経済へのインパクト創出</p>	<p>協同組織と金融の力で、持続可能な環境・社会・経済の実現に向けて、ポジティブインパクトを創出し続けていきたい</p>
 <p>農林水産業・地域の持続的な発展</p>	<p>食と農林水産業のファーストコールバンクとして、ITデジタルを活用したデータビジネスの展開や新たな食農バリューチェーンの構築等により、更なる付加価値を提供し、農林水産業者や系統団体の持続的な発展を実現したい</p>
 <p>デジタルとリアルとの最適融合による組合員・利用者への価値創造</p>	<p>系統金融機関ならではのデジタルとリアルとの融合、その最適解を追求することで、JA・JFが更なる金融仲介機能、総合事業体としての強みを発揮し、組合員・利用者の皆さまに感動いただける価値を創造し続けていきたい</p>
 <p>会員への安定的な収益・機能還元の実現</p>	<p>農林中金グループが一体となって、変化の激しい市場環境や顧客・取引先のニーズに柔軟に対応するとともに、新しい領域・分野に挑戦し、持続的な財務・収益基盤を構築・維持することで、会員からの安定的な収益・機能還元に関する期待に応え続けたい</p>
 <p>変化に挑戦し続ける柔軟で強靭な組織の実現</p>	<p>多様な思考を持った人材が相互に学びあいながら専門性を高めるとともに、ITデジタル・データ利活用が浸透したオープンマインドな企業カルチャーのもと変化にチャレンジし続けることで、柔軟で強靭な組織を実現したい</p>

2030年のありたい姿を実現するための主な取組み

ありたい姿の実現に向けた取組状況や足元の対応方向など、詳細は以下記載の参照先をご覧ください。

ありたい姿	 <p>地球環境・社会・経済へのインパクト創出</p>	 <p>農林水産業・地域の持続的な発展</p>
ありたい姿の実現に向けた主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 2050年ネットゼロの実現に向けた取組み ● TNFD提言に基づく開示の充実、ソリューション提供等を通じた取引先のネイチャーポジティブに向けた取組み支援 ● サークュラーエコノミー、循環型農林水産業への移行に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農林水産業におけるITデジタルを活用したコンサルティング機能の提供やデータビジネスの展開 ● 既存のバリューチェーンにとらわれない新たなグローバル・バリューチェーンの構築支援 ● 農林水産業者・食農バリューチェーン・イノベーション企業への融資・投資拡大 ● 食料安全保障の基礎となる国内生産基盤と循環型農業の構築
取組主体	<p>持続可能な経営 (ビジネス横断)</p> <p>▶ P.49</p>	<p>食農ビジネス ▶ P.37</p>

パーパス(私たちの存在意義)

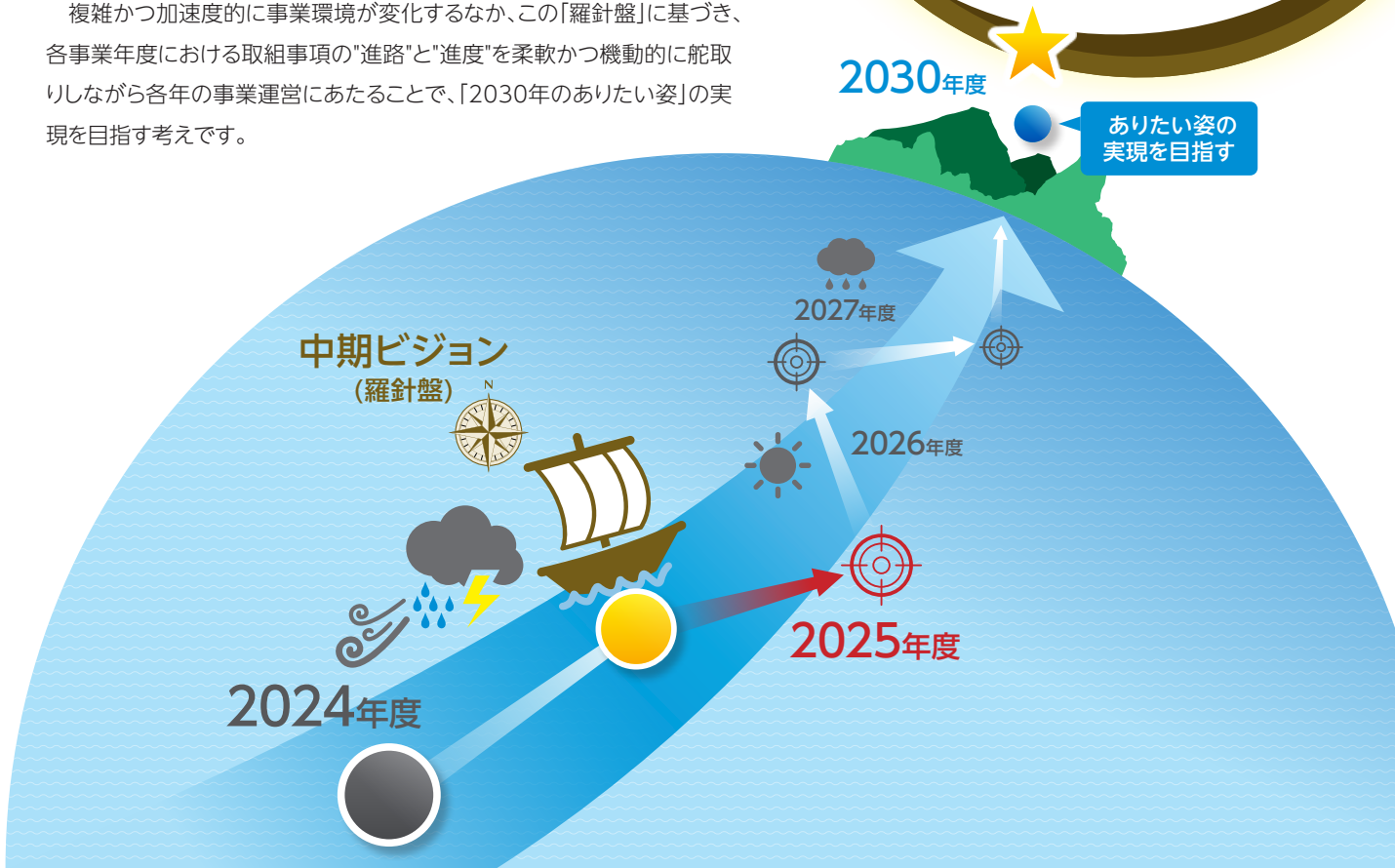
持てるすべてを「いのち」に向けて。

ステークホルダーのみなさまとともに、
農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、
持続可能な地球環境に貢献していきます

中期ビジョンに基づく経営のイメージ

パーパスまでの道のりを航海にたとえると、中期ビジョンはいわば「羅針盤」としての位置づけです。

複雑かつ加速度的に事業環境が変化するなか、この「羅針盤」に基づき、各事業年度における取組事項の"進路"と"進度"を柔軟かつ機動的に舵取りしながら各年の事業運営にあたることで、「2030年のありたい姿」の実現を目指す考えです。



デジタルとリアルの最適融合による組合員・利用者への価値創造

- JA・JFが選ばれる金融機関となるために、デジタル機能の充実と実店舗での専門性の高いサービスの提供
- JA・JFならではの金融仲介機能、総合事業性の発揮により業態の垣根を越えた連携に向けた取組み

会員への安定的な収益・機能還元の実現

- 国際分散投資手法の多様化による安定的な収益の確保
- 金利・景気変動耐性を有する貸出ポートフォリオの構築
- 農林中金グループ一体となった資産運用ビジネスの強化

変化に挑戦し続ける柔軟で強靱な組織の実現

- 多様な思考を持った人材群による専門性の向上
- ITデジタル・データ利活用の浸透を通じた新たなビジネス価値の創造と生産性向上の実現
- 変化にチャレンジする柔軟で強靱な組織の構築

リテールビジネス ▶P.41
投資ビジネス ▶P.45

コーポレート
人材マネジメントの高度化 ▶P.59
デジタルトランスフォーメーション ▶P.67